



2019年度「障害者スポーツ推進プロジェクト (障害者スポーツ用具活用促進事業)」成果報告書

特定非営利活動法人D-SHiPS32



事業実績

■ カリスポ システムの構築

《2019年10-11月》

- ・システム構築の業者を検討・選定。相見積もりから(株)アルコと契約し正式依頼
- ・WEB全体の概要を構築し、検索システム、決済システム、配送システムを組み込む方針を決定
- ・将来様々なパラスポーツ器具を掲載できるような立て付けを念頭に最初はスポーツ用車いすレンタルを開始する決定
- ・配送、メンテナンス修理、

《2019年11-12月》

- ・決済システムの決定
- ・レンタル提供商品を決定(1年目はスポーツ用車いす10台で運用)
- ・WEBページのレイアウトの仮完成
- ・WEBページの文字、デザイン、色合い、写真の調整

《2019年1月-2020年2月》

- ・配送業者との連携システムのテスト開始
- ・配送料金の検討、決定
- ・レンタル事業の規約・FAQを決定(当団体弁護士確認済)
- ・商品ページの説明文、商品写真の著作権調査実施

《2020年2-3月》

- ・配送業者との連携、決済システムからの自動配信の確認
- ・利用者と決済システム、利用者と配送業者の自動配信システムの確認
- ・配送業者、倉庫利用契約
- ・上記モニターテスト実施
- ・修正箇所の修正と(株)アルコ社との最終調整

■ モニターテスト結果(一部抜粋)

《モニター》

都内府中市に住む障害のあるお子様を持つご家族に協力を依頼。

WEBサイトに入るところから検索、車いすの選択、決済、配送の受け取り、解約、修理システムの申し込みまでを述べ3日間かけて実施

《結果と修正》

- ・最低利用期間が不明確⇒3か月毎の利用を明確化
- ・消費税の記載が不明確⇒各箇所に
- ・領収書印刷発行箇所がわかりづらい⇒明確化
- ・配送業者連携システムメールにおいて、住所のみの記載になっている⇒TELを追記
- ・修理画面から修理チケット購入画面のリンクが不明⇒修理チケット購入画面からリンクで修理申し込み画面に飛べるように設定

etc

■ メンテナンス提携大学・企業

- ・オートボックジャパン(株)(世界唯一のパラリンピックパートナー：車いすや義足の業者)との連携：〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F
当企業に講師を派遣してもらい技術サポートで今後も連携していく。
- ・新潟医療福祉大学：〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
2020年1月9日講義実施、受講者約50名
- ・広島国際大学(東広島キャンパス)：〒739-2695 広島県東広島市黒瀬学園台555-36(東広島キャンパス)
2020年1月13日講義実施、受講者約10名
- ・人間総合科学大学(岩槻キャンパス)：〒339-8555 埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354-3(岩槻キャンパス)
2020年1月10日講義実施、受講者約20名
(大学の連携に関しては「日本義肢装具士協会」と連携し、まずは3校から開始したが、今後全国展開していく上で更に協力大学を増やしていくために、引き続き連携していく事になっている)

■ 配送業者

- ・2019年8月より西濃運輸と協議をすすめていた
- ・2020年1月まで協議したが、西濃運輸配送料金・倉庫使用料及び西濃運輸からの提案資料内容が当事業には適しないと判断し、八大株式会社と締結
- ・八大株式会社の倉庫、配送料、配送経路についてもご協力を頂いた
- ・配達業者に関しては他の業者ともMTG済で今後全国展開していく上で各地に協力業者を作り配送料の効率化に徹した。

■ 搬送BOX作成

- ・八大株式会社のご協力により、車いすオリジナルの梱包段ボールを開発

■ パラリンピアンに向けての広報

- ・代表の上原の繋がりでもパラリンピアンOBに宣伝。
- ・各種講義や講演会などで宣伝。
- ・当団体各種イベントにて宣伝。
- ・パラリンピアンズ協会も当プロジェクトに興味を持ってきているため、今後更に連携をしていき、リュースの用具を増やしていく。
- ・脊髄損傷者の再歩行を目指すトレーニングジムに通っている障害者からの車いす提供を依頼し、1台子供用スポーツ車いすを寄付してもらい運用。



**2020年が日本のパラスポーツの
スタートになるために！
～パラスポーツ器具レンタルサイト『カリスポ』～**

特定非営利活動法人D-SHiPS32



現状・課題

- パラスポーツ器具において、子供達は成長が早く、高額で買った車椅子が直ぐに使えなくなってしまう。そのため、身体の成長がある程度終わってからではないと家族の経済的負担が大きい
- パラスポーツ界において、選手発掘という意味での普及活動は行い始めている、スタッフ育成の普及をしている人たちが少ない。
- パラリンピックを目指すためには選手だけでなく、スタッフの数が全く足りていなく成長していない。
- 欧米では車椅子バスケットボールのチームが100以上、パラアイスホッケーチームは約90チームあり、そのほぼ全てのチームに健常者が加わっているが日本では「障害者だけ」という認識になっている。
- パラスポーツはまだまだ「障害者」のためのスポーツと勘違いされているが、「誰もができる」スポーツである事を世の中に広める必要がある。
- 2020年に向けて多くのパラスポーツイベントが各地で行われているが、車椅子などの用具がない



用具レンタル事業目的と育成

未来のパラ用具メンテナンス育成

未来のメダリスト育成

障害者

車椅子や用具のレンタルを行う事で、
子供の時からもっとスポーツ
を楽しめる日本を作る。

イベント

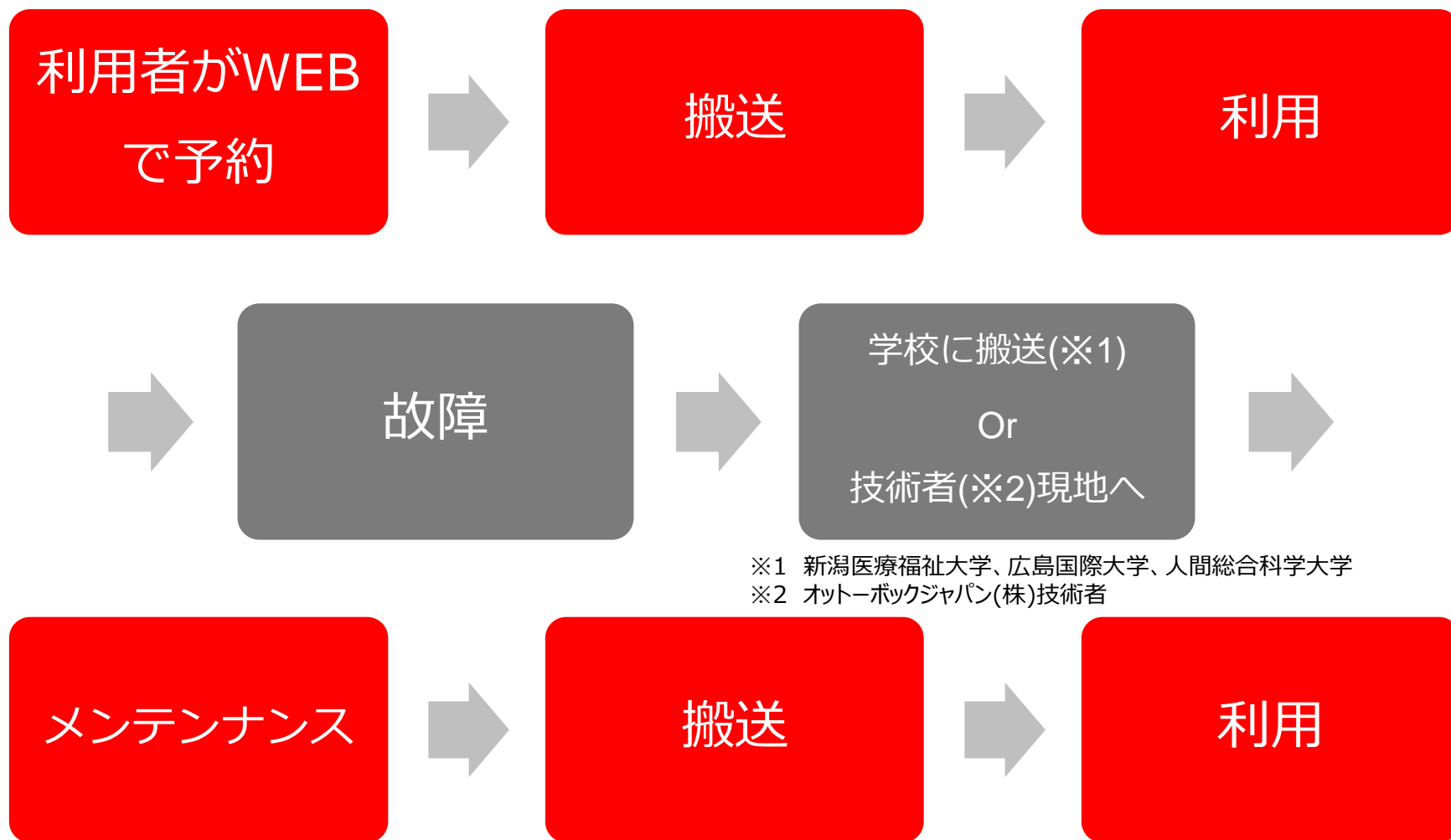
パラスポーツ器具レンタルを
認知する事でよりもっと多くの
人がパラスポーツに関心を持
てる機会を作る。

行政 体育館

体育館や学校、総合型ス
ポーツクラブに車椅子を常備
してもらう事で
誰もが直ぐにパラスポーツに
アクセスできる環境を目指す。



レンタルの流れ



※1 新潟医療福祉大学、広島国際大学、人間総合科学大学
※2 オットーボックジャパン(株)技術者

用具レンタルサイト『カリスポ』 と操作マニュアル



<https://karispo.com/>



スポーツ用車いすレンタル
月額 **¥7,000** (税抜)


レンタルサイトは
こちら>

レンタル方法

※レンタルの最低契約期間は3カ月となります。1か月目に3カ月分を一括お支払いいただきます。

ショップ

デフォルト表示 全2件を表示



マルチスポーツ車いす (スモール) オットーボック社製
7,000円 (税込) / 1ヶ月あたり
3ヶ月分の利用料を初期費用21,000円として一括支払い

カートに追加

マルチスポーツ車いす (ミディアム) オットーボック社製
7,000円 (税込) / 1ヶ月あたり
3ヶ月分の利用料を初期費用21,000円として一括支払い

カートに追加

</shop/>にて、商品を選択

商品	価格	数	合計
 マルチスポーツ車いす (ミディアム) オットーボック社製	7,000円 / 1ヶ月あたり 3ヶ月分の利用料を初期費用21,000円として一括支払い	1	7,000円 / 1ヶ月あたり 3ヶ月分の利用料を初期費用21,000円として一括支払い
商品一覧			
カートを更新 >			
小計			21,000円
消費税 (日本の消費税)			2,100円
合計			23,100円
月額レンタルのお支払い			
小計			7,000円 / 1ヶ月あたり
消費税			700円 / 1ヶ月あたり
合計			7,700円 / 1ヶ月あたり ※納税番号: 2020年8月2日

[お支払いへ進む >](#)

レンタル内容を確認し、お支払いへ進む

登録済の方はこちら ログインはこちら

請求先情報の詳細

姓* 名*

国* 日本

郵便番号* 都道府県*

市区町村*

番地* 番地

マンション、建物名など(オプション)

電話番号*

メールアドレス*

追加情報

メモ(オプション)
配送先が企業等、配送業者が分からない場合は詳細を記載ください

クレジットカード (Stripe)

Stripe 経由でクレジットカードで支払う。

カード番号*

有効期限* セキュリティコード(CVC)

ご注文詳細

商品	合計
マルチスポーツ車いす (ミディアム) オットーボック社製 × 1	7,000円 / 1ヶ月あたり 3ヶ月分の利用料を初期費用21,000円として一括支払い
小計	21,000円
消費税	2,100円
合計	23,100円
月額レンタルのお支払い	
小計	7,000円 / 1ヶ月あたり
消費税	700円 / 1ヶ月あたり
合計	7,700円 / 1ヶ月あたり ※納税番号: 2020年8月2日

決済情報、登録情報を入力し、「確定」をクリック

用具レンタルサイト『カリスポ』 と操作マニュアル



修理依頼方法

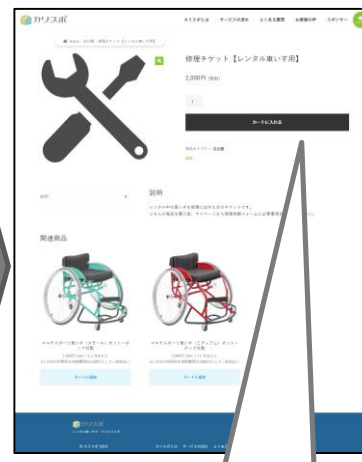
修理のご依頼を承るには、まず先に修理チケットをご購入いただく必要があります。



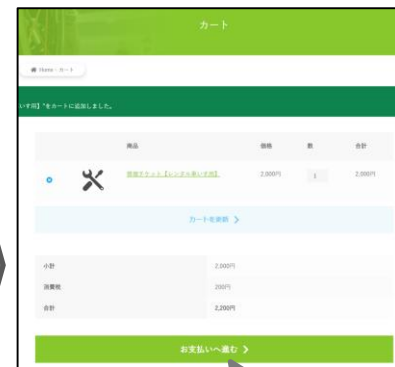
管理画面 (/my-account/) を開き、
「修理問い合わせ」をクリック



「修理チケット」をク
リック



「カートに入れる」をクリック



「お支払へ進む」をクリック



購入内容を確認し、
お支払いへ進む

修理
チケット
購入完
了



修理チケットをご購入いただき、
こちらにチェックを入れてください。

修理が必要な箇所の写真をお
送りください。



必要事項を入力し、
「確認画面へ」



PARAVERSITY

Paralympic (パラリンピック)

×

DIVERSITY (ダイバーシティ)

×

UNIVERSITY (ユニバーシティ)

パラスポーツを通して楽しみながらお互いを理解する。
そして、日本の多様性が進み、
誰もが楽しめる社会へ。



本報告書は2019年度スポーツ庁委託事業として、特定非営利活動法人D-SHiPS32が実施した「2019年度障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツ用具活用促進事業）」の成果を取りまとめたものです。従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。